

事業所名 デイサービス クローバー

運営推進会議開催報告書

開催日時 平成 29 年 12 月 4 日 (月) 10 時 00 分～10 時 50 分		
参加者		議題
利用者	1 名	デイサービス クローバーの運営状況の説明
利用者家族	0 名	・会社概要について
地域住民の代表者	1 名	・利用者状況について
市職員	1 名	・年間行事、取り組みについて
地域包括支援センター職員	1 名	・事故、ヒヤリハットについて
事業所	1 名	・地域への取り組みについて
会議録		
資料に基づいて、ご説明をさせていただきました。		
<input type="checkbox"/> 補足説明として、 <ul style="list-style-type: none"> ・年間行事が前年度に比べて減っている点について 新人スタッフが多くなって日常業務優先となってしまった為、行事企画ができなかったため。今後は利用者さんと一緒に楽しめる企画を立てていけると思います。 ・平均介護度について 前回より上がっているのは、退院間もない利用者さんの介護度が上がったことが関係しています。 ・きっぷクローバーの子供たちとの交流、駄菓子屋さんについて 子ども達がおやつの時間に来た際に利用者さんからコインをもらい、それを使って駄菓子を買う。利用者さんが店主になっています。 		
<input type="checkbox"/> ご質問があった内容 <ul style="list-style-type: none"> ・一日の男女比について 土曜日は男女半々で、それ以外の曜日は女性の方が多いです。 ・地域への取り組みの“みずのカフェ”について 参加者はどのような方が？ 地域の70代～80代女性が大半です。 周知方法は認知症サポーターを取得された方がボランティアとして参加し、声をかけて誘ったり、回覧板のチラシをいれたり、包括さんにも広報していただきました。 ・定員 13 名に対して実績は？ 平均 11.5 人くらいです。 		

□ご意見として

- 利用者さんのそばにスタッフがいるというのが、安心でよい。
- 地域に対する取り組みがあり、いろいろな人をウェルカムな雰囲気が良い。また、社会資源として活用できるのでよい。
- 来所した時により香りがした。(アロマを焚いています)
- 利用者の健康管理もされていて安心ですね。などお話いただきました。

□次回開催日程について

平成30年3月上旬を予定します。

デイサービス クローバー 運営推進会議資料

平成29年12月4日

<企業理念>

- 私たちは、福祉サービスを通じて、人の心を豊かにします。
- 私たちは、地域の困りごとを解決し、住み良い社会づくりに貢献します。
- 私たちは、変化に対応しつつ支え合い、学びながら成長し続けます。

<介護部門方針>

笑顔で気持ち良く利用者の横に座って傾聴し、利用者のニーズを把握し、必要なサービスを起こす。介護者やケアマネと寄り添いながら客観的にサービスを見直す。社外から見ても明るい雰囲気が伝わるような企画をし、利用者サービスを提供する。スタッフは学びながら成長していく。

<利用状況について>

登録人数：29名（男性：11名、女性：18名）

要介護認定：27名

要支援認定：2名

平均介護度：1.96

<毎日の取り組み>

介護職員がお迎え→お茶タイム（ゆっくりお話をしながら）→あいさつ→

午前レク（手先を動かして認知症予防）入浴の方は順番にお誘い→昼食前の口腔体操→昼食（厨房で手作りのお食事をみんなで一緒にいただきます）→休憩→体操・ゲーム→おやつ（学童のこどもたちと一緒に）→おしゃべりしながら帰宅準備→介護職員が送り

<毎月の取り組み>

利用日がわかるように次月のカレンダーを作成

脳トレーニングの実施

体力測定の実施

きつずクローバーとの合同行事（おやつづくり・駄菓子やさん）

<年間行事>（平成 29 年 3 月より平成 29 年 11 月末まで）

3 月	きつず合同ひなまつり	7 月	きつず合同七夕まつり	8 月
	きつず合同夏まつり	9 月	敬老会	
1 0 月	運動会	1 1 月	外炊き五目ごはん作り	

<ヒヤリ、事故件数>（平成 29 年 3 月より平成 29 年 11 月末まで）

ヒヤリ：23件

内訳

転倒、転落、つまずき：14件、誤嚥・誤食：1件、誤薬：0件、交通事故：0件

その他：けがをしそうになる：5件（つまようじで耳かき、浴室マットがすべった、ぶつけて内出血していたところが皮膚めくれになった、他の利用者の足の上に杖をつきそうになる）与薬忘れ：1件、荷物入れ間違い：1件、物が落下：1件

事故：2件

内訳

はさみ使用中に指を切ってしまった。

爪切りの際、深爪になり血がにじんだ。

<介護予防の取り組みについて>

- ・毎月1回の体力測定の数値をご本人にも見える形で前月よりも向上する気持ちを持って取り組んでいただく。
- ・午前中は作品づくり等でおしゃべりをしながら手先を使うレクリエーションの提案。
- ・午後は足（ひざ）を動かすことに特化した体操や、歌をうたう等 ADL 低下を防ぐ目的で行う。
- ・きつず（弊社学童保育）の子供たちとの交流で刺激を与える。

<大切にしていること>

企業理念と方針に基づき、利用者様の隣に笑顔で座り、ゆっくりお話しを聞き、ニーズを見つけて応えていくこと。

家族のようなゆっくりとした時間を一緒に過ごし、一緒に楽しむこと。

厨房での手作りの食事の提供。

ご家族様との連絡、関係作り（送迎を介護スタッフが行う）

カンファレンス、研修、避難訓練を毎月一度必ず行う。（必要に応じて適宜）

<地域に向けての取り組み>

●コミュニティサロン“みずのカフェ”（原則毎月第四木曜日 10：00～12：00）

みずのカフェには毎月12名ほどの地域の方が来会されています。

カフェで久しぶりに再会したということも多く、毎月1回の開催を楽しみに通ってくださっている様子です。

固定メンバーに加えて新規来会者もあり、今後も地域の皆様の集う場所として活用いただきたく取り組んでまいります。

●瀬戸市認定認知症カフェ“せとらカフェ みずの”（ 〃 13：00～15：00）

瀬戸市よりご後援いただき、認知症の方の介護をしておられる方のレスパイトケアを主として活動しています。“来会された方がゆっくりとお話しができるように”を中心に考え、必要であれば専門職への相談も受け付けています。

打田内科クリニックの打田先生に認知症に関する講演を前年度いただきました。

今年度は平成30年2月22日（木）に先生を囲む会でお話をいただくことになっています。